



21世紀はアミノ酸の世紀

高純度・濃縮アミノ酸



プロリンG

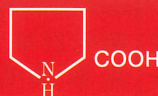
農林省登録 生第 55963号 5-3-2 NET 20kg

植物も人間と同様に、大半が水分で、次がタンパク質です。このタンパク質を構成しているのが、20種類のアミノ酸なのです。

一つでも欠けると、植物体を正常に保てなくなりますが、植物は光合成によってアミノ酸を生成しています。ただし、日照不足や植物体の疲労等の原因により、アミノ酸が不足し様々な生理障害を引き起こしてしまいます。

植物にとってアミノ酸は、根・茎・葉・花・実をつくるもとであり、生命の源なのです。各種農作物の栽培ステージのなかで、定期的にプロリンGを与えてあげて下さい。

プロリンGに含有するアミノ酸



Proline

植物は光合成産物とアンモニアから先ずグルタミン酸をつくります。その他の数十種のアミノ酸はほとんどこのグルタミン酸から変化した物と考えられています。

そして、プロリンGに一番多く含まれています複素環式性アミノ酸は植物の生育にあたって必要なときに必要なアミノ酸代謝のために速やかに働くことが良く知られています。

したがって、プロリンGはあらゆる作物のどんな環境にも極めて正確に、しかも、安全に対応できます。

また、プロリンGには尿素が配合されていますので、アミノ酸と合わせて即効的に効果が発揮されます！

これが中身です

アミノ酸の名称	含有率(%)		アミノ酸の名称	含有率(%)		アミノ酸の名称	含有率(%)	
プロリン	14.66	●	リジン	3.49	◇	スレオニン	1.20	○
ヒドロキシプロリン	15.00	●	アルギニン	4.30	◇	イソロイシン	1.20	○
グリシン	25.48	○	リン	2.63	○	フェニルアラニン	1.20	△
グルタミン酸	10.40	△	ロイシン	2.20	○	メチオニン	0.20	○
アスパラギン酸	5.20	△	バリン	1.00	○	ヒスチジン	0.40	●
アラニン	10.81	○						

●複素環式性アミノ酸 ○中性アミノ酸 PH4.6-6.3
 △酸性アミノ酸 PH2.7-3.2 ◇塩基性アミノ酸 PH7.6-10.7



製造



株式会社 **サンセイ**

使い方と注意

◎ 300倍～500倍にうすめて流し込んで下さい。

使用料の目安は7日～10日置きに5kg/10aです。

栽培期間のどのタイミングでもご使用いただけます。

◎ アルカリ性のものや薬害の出やすい農薬との混合は、ガスの発生や薬害の助長の可能性があります。

それ以外の液肥や農薬であれば混合してお使いいただけます。

◎ 原液は冷暗所に密栓して保管して下さい。

pHは酸性ですが、有機物を多く含んでいますので薄めた状態で放置するとカビなどの発生する恐れがあります。

★プロリンの使用適期と効能

	苗育期	出蕾期	開花期	幼果期	肥大初期
イチゴ 各作型	花芽分化期 健全な花芽が多くできる	開花が早くなる 奇形果を防ぐ	奇形果防止 肥大促進	肥大促進 凍害防止	日もちがよくなる 糖分増大
スイカ	本葉4～4.5枚のとき 1番花の完全形成	授精率向上	変形果防止	生育促進	糖度増大 肥大良好
トマト	本葉1.5枚期より 低節位に着花	完全着花	落果防止	肥大促進 スジグサレ予防	鮮明着色 スジグサレ予防
ナス	花芽分化促進 徒長防止	落花防止 変形果予防	落果防止 着果率増大	肥大良好	鮮明着色 鮮度保持
キュウリ	本葉2枚時より 確実に着花	不授精果防止	落果 } 防止 変形果 }	果形良好 肥大良好	鮮度良好
カボチャ とうがん	本葉1枚～1.5枚時 着花良好	不授精果防止	落果 } 防止 花くされ }	肥大良好	果肉がしまる
メロン	本葉2枚時 花芽健全	不授精果防止	落果 } 防止 変形果 }	肥大促進 汚点防止	糖度増加 鮮度保持
果樹 みかん・柿 梨・ぶどう 桃・梅・栗	開花前15日と7日の2回		花直後～幼果期に 2～3回		収かく適期40日、20日前ごろ (ハウスみかんは収かく期には使わない)
	着花が多くなる		落果がなくなる 大果になる		甘味、芳香、着色、日もち 極めて良好
茶	晩秋～初冬	春	夏	秋	
	コクのある茶ができる。 一番茶芽が充実する。	発芽前2回 樹勢がよくなる	1番茶刈取直後2回 2番茶刈取直後2回 3番茶刈取直後2回	整枝の直後	秋季、ダニ剤と混合 散布すると春のダニが 激減します。 (実際家)